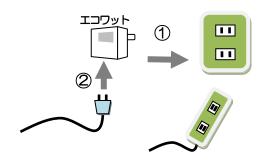


## はじめに



- ●エコワットは100V専用です。
  - ・コンセントの形状が異なる機器には使用しないでください。
  - ・200V仕様の機器(大型のエアコン、IHクッキングヒーターなど)には絶対 に接続しないでください。
- ●1200W以上の機器には使用しないでください。
  - ・エアコン、ファンヒーター、ドライヤーなど消費電力の大きい製品を接続すると きは注意してください。 また、テーブルタップなどを使って複数の電気機器を同時に接続することは避け てください。
- ●エコワット本体をコンセントから抜くと、計測したデータは消えてしまいます。
  - ・計測データはコンセントに接続した状態で確認してください。別の電気製品を接続するときは、一度エコワットをコンセントから抜き、再度差し込んでから使用してください。

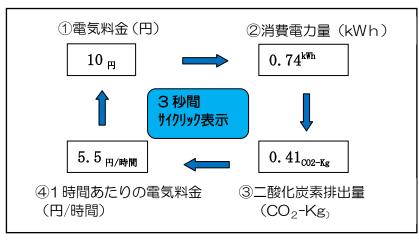
## 使い方



- ① エコワット本体をご家庭のコンセント、または テーブルタップに差し込みます。
- ② エコワット底面にある差込口に、電気製品のプラグを差し込みます。
- ③ 測定が開始し、電気料金、消費電力量、CO<sub>2</sub> 排出量、1 時間あたり電気料金が表示されます。

## 表示内容







- ●いろいろな電気製品を測定してみましょう
  - ・冷蔵庫、テレビ、掃除機、ポット、炊飯器、洗濯機、温水便座、パソコンなど、 身の回りの電気製品の電気使用量を調べてみましょう。
- ●電気製品の設定を変えて試してみましょう。
  - ・エアコンの設定温度や冷蔵庫の強弱を変えてみたり、節電モードのある電気製品 で設定を切り換えてみたりして、違いを確認してみましょう。
- ●複数台お持ちの電気製品について、大きさや年式の違いによる消費電力を確認してみましょう。
  - ・最近の電気製品は、省エネ化が進んでいます。違いを確認してみましょう。

## その他



- ●簡易測定のため、実際と誤差が生じることがあります。
- ●表示される料金は目安です。 1kWh あたり 22 円で計算されます。
- ●二酸化炭素排出量の計算に使用している排出係数は、和歌山市環境家 計簿の排出係数と異なります。
  - ・和歌山市環境家計簿の計算方法と比較して、排出量に大きな値が表示されます。 ※排出係数: エコワット 0.555、和歌山市環境家計簿 0.38(単位: kg-CO<sub>2</sub>/kWh)
- ●5W以下の電力(待機電力など)は、測定できません。

